

令和4年度地域活動支援事業 事例集

20 柿崎区

柿崎区総合事務所

柿崎区

No.01

密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業

まちづくりの推進

米山と密蔵院を結ぶふれあいパークの会

事業概要

地域の活性化と環境美化を図るため、上越地区随一の彫刻を有する密蔵院護摩堂周辺の整備や、米山山頂へ続く米山登山道古道の定期的な清掃、草刈り、倒木処理、沿道のアジサイ・つつじの世話、松林の整備を行った。

また、毎月1回、古道を歩く会を開催し、古道に咲く花々を鑑賞しながら参加者の交流を図った。

事業評価・今後の活動の見通し

米山登山道古道を整備し安全に歩きやすく保たれ、古道を利用する登山者が増えたほか、公民館のきのこ学習会や柿崎小学校4年生の総合学習にも利用され、整備した古道を有効に活用できた。また、月1回の古道を歩く会には、100人近い参加者があった。

地域活動支援事業の廃止に伴い、活動規模を縮小して古道の整備(草刈り、倒木除去等)を継続する。また、古道を歩く会やアジサイ・つつじの世話は会の活動から切り離して継続する。



事業費 244,962 円

補助金額 195,000 円

No.02

柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業

まちづくりの推進

柿崎農業の未来を考える会

事業概要

令和元年度から令和3年度に、農業者、非農業者、農業者世帯の非農業者を対象に実施したアンケート調査の回答を分析し、その分析結果を基に農業地域ビジョンを策定した。

また、対象集落の町内会長に追加のアンケート調査を実施し、集落内共同作業の参加人数の充足度や移住者に守ってほしい習慣などの意見を聞いた。

事業評価・今後の活動の見通し

当初、農業地域ビジョンは令和6年度に策定予定だったが、アンケート調査の回答率が高く必要なデータが得られたことから、令和4年度に策定することができた。

今後は、農業地域ビジョンを柱に活動指針に沿って行動していく。また、活動で得られたデータは、関係機関や市内の団体に提供し、活動範囲を広げていきたいと考えている。



事業費 496,224 円

補助金額 396,000 円

No.03

ドーム周辺花いっぱい事業

環境保全・景観形成

花うえの会

事業概要

柿崎区を訪れる人の心のオアシスとなるよう、国道8号からかきざきドーム入り口までの350メートルの花壇と柿崎中学校の階段状花壇に花を植え、施設周辺の環境整備を行った。4月から11月の間、苗の植栽、水やり、草取り、花がらつみ等の作業を実施した。

1年を通じて花を楽しんでもらうため、あじさいやシラン、ガザニア、水仙などの多年草の植栽を行った。また、「良い土づくり」と「良い花苗の購入」に務め、異常気象への対応をさらに強化した。

事業評価・今後の活動の見通し

20年間にわたり多数の会員が活動に関わり、多くの人たちから指導や支援を受け活動を継続できたことに、あらためて感謝の気持ちでいっぱい。会の目的である「かきざきドーム周辺を花などで整備しドームの価値を高める」「ボランティアの楽しさを伝える」ことを多少なりとも達成できたことに安堵している。



事業費 321,153 円

補助金額 256,000 円

No.04**かきざき湖八重桜広場の八重桜植樹事業**

環境保全・景観形成

ガンバ米山

事業概要

柿崎川ダム、米山、尾神岳、妙高戸隠連山を見渡せる新たな桜の観光名所を目指して、かきざき湖八重桜広場に八重桜30本を植樹した。また、八重桜の手入れ、草刈り、電気柵の設置・撤去などの環境整備を行った。

観桜会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

事業評価・今後の活動の見通し

八重桜の植樹や手入れにより、八重桜の開花に期待が持てる。また、地域のボランティアと八重桜の植樹、手入れ、囲い等の作業を通じて交流を深めることができた。

八重桜の植樹を始めて今年で15年。300本を目標に植樹、管理を続け観光名所を目指すとともに、観桜会の開催、八重桜の植樹・手入れ作業を通じて地域の方々との更なる交流を図りたい。



事業費	481,580 円
------------	-----------

補助金額	385,000 円
-------------	-----------

No.05**坂田池園地桜植替え事業**

まちづくりの推進

柿崎観光協会

事業概要

てんぐ巣病や高齢化で傷みが増した坂田池周辺園地の桜の植え替えを行い、観光資源としての坂田池の景観を保持し、交流人口の拡大に寄与した。

今年度はてんぐ巣病に強い品種である「陽光」25本を植え替えた。

事業評価・今後の活動の見通し

長年の間に傷んだ立ち枯れ木や枯れ枝を伐採し、桜木を植え替えて坂田池の桜並木が再生した。植え替えた品種「陽光」の花弁は赤みが強く、新たな桜の名勝として観光客の増加が期待できる。また、坂田池園地の景観を保存するとともに、水環境や動植物の共生、自然の大切さを体感する場となった。

今後も桜の生育管理に努めるとともに、開花期には観桜会やライトアップ等を実施する。また、継続して桜の植え替えも行いたい。



事業費	1,113,750 円
------------	-------------

補助金額	891,000 円
-------------	-----------

No.06**第5回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展**

文化・スポーツの振興

手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会

事業概要

市民同士の交流を深めるとともに、ものづくりへの制作意欲の向上を図るため、柿崎区の寺院を会場に9月16日から9月18日の3日間、ものづくりを趣味として制作している作品の作品展を開催した。

16人と2グループが作品を出展したほか、出展者の手づくり楽器でのコンサートや、「苔玉づくり」の体験コーナーを開催した。

事業評価・今後の活動の見通し

過去最高の833人の来場者があり、出展者は作品の制作意欲が増し、次年度開催に向け大きな力となった。地域の皆さんに交流の場を提供できた喜びとともに、柿崎での開催に大きな期待を抱いていることを強く感じた。

近隣市町からの来場者が増えたことにより、柿崎を広くアピールすることができ、地域活性化につながる足掛かりが見えた。



事業費	550,424 円
------------	-----------

補助金額	440,000 円
-------------	-----------

No.07

柿崎まちづくりカレンダー作製事業

まちづくりの推進

NPO法人 柿崎まちづくり振興会

事業概要

柿崎区内の各行事への参加意欲を高めるとともに、地域の一体感の醸成や家庭でのコミュニケーションづくりに寄与するため、行政や関係機関、町内会、学校、保育園等の主な行事を掲載したカレンダーを3,650部作製した。カレンダーは、4月から3月までの年度版。柿崎区の全世帯、保育園、学校、事業所等に配布した。

事業評価・今後の活動の見通し

柿崎区内の各行事の情報を掲載したカレンダーを作製し、配布することで、地域住民の行事への参加意欲を高めることができた。また、団体等からは、行事日程の調整等を行う際に役立つとの評価を受けた。

カレンダーは市民に定着しており、好評なことから今後も継続して作製したい。さらに、カレンダーに掲載する写真により、区内の行事や活動、風景など地域を知ってもらおう一助とする。



事業費 873,000 円

補助金額 500,000 円

No.08

猿毛城址登山道整備事業

まちづくりの推進

NPO法人 柿崎まちづくり振興会

事業概要

多くの人に猿毛城址を認識し登ってもらうとともに、黒川・黒岩地区住民から地区の歴史・観光資源の再認識と環境整備・保存の意識を高めてもらうため、猿毛城址登山道、山頂、曲輪の伐採・刈り払いと猿毛城址入り口の標柱の建て替えを行った。

事業評価・今後の活動の見通し

登山道や曲輪の伐採・刈り払いを行い、山城の形態を偲ぶことができるようになり、柿崎観光協会が10月29日に城山登山を実施し、40人が参加した。

次年度以降、NPO法人柿崎まちづくり振興会をはじめ、柿崎観光協会や地元の団体等に声かけをして、登山道の整備や他の曲輪の刈り払いを行うとともに、「猿毛城址を守る会(仮称)」の組織づくりを進める。



事業費 687,000 円

補助金額 612,000 円

No.09

黒川・黒岩ふれあい事業

まちづくりの推進

16ピース

事業概要

黒川・黒岩地区に交流の場と活力を生み出すため、旧黒川小学校グラウンド沿いにあるフラワーロードの整備、グラウンドの除草等の環境美化活動と黒川・黒岩ふれあい祭りを実施した。

今年度、黒川・黒岩ふれあい祭りでは、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、夜店を出店し花火打ち上げを拡大した。しかし、予定していた米山古道散策と遺跡めぐり、ふれあいそば祭りは、飲食を伴うことから中止した。

事業評価・今後の活動の見通し

黒川・黒岩ふれあい祭りでは、新型コロナウイルス感染防止対策を実施した中で、夜店の出店を復活し花火の規模拡大を行ったことから、以前の活気を取り戻してきたと思われる。

今後、コロナ禍が続くことを想定してイベント内容の見直しや運営方法を検討し、次年度以降も地域の活性化、地域連携に貢献していきたい。



事業費 2,091,155 円

補助金額 1,000,000 円

No.10

柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」事業

まちづくりの推進

柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」実行委員会

事業概要

柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」を開催することにより、下黒川地区の活性化を図るとともに、下黒川地区の市民の親睦と融和を図った。

太鼓の演奏や十三夜、竹灯籠の演出、花火の打ち上げ等を行い、高齢者から子どもまで多様な年代の交流を深めた。

事業評価・今後の活動の見通し

300名ほどの参加者であったものの、子どもから年配の方までご来場いただき、近所が集まることのできるまつりを開催することができた。

今後、下黒川地区夏まつりを中心に、河川美化作業やふるさとウォーキング等年間を通じた活動に取り組み、地域の親睦と融和を図り、地域の連帯意識の醸成と次世代を担う子どもたちのふるさとへの想い、ふるさとを愛する心を育みたい。



事業費 1,211,025 円

補助金額 1,000,000 円